

(別紙)

水稻の刈取状況（9月30日現在概況速報）について

- 1 9月30日現在、県全体で39%の水田で刈取りが終了しており、平年と比較して6ポイント早い進捗である。刈取始期（10%）は9月23日頃と推定され、平年より2日早い。
- 2 地帯別には、北上川上流が33%、北上川下流42%、東部51%、北部29%となっており、北上川上流・北部は平年並の進捗である。

表1 水稻の地帯別刈取状況（9月30日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	9月30日現在進捗(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	33	34	9/23	-	-	9/23	10/4	10/15	±0	-	-
北上川下流	42	32	9/22	-	-	9/25	10/4	10/13	-3	-	-
東部	51	44	9/23	-	-	9/24	10/1	10/11	-1	-	-
北部	29	27	9/27	-	-	9/27	10/6	10/15	±0	-	-
県全体	39	33	9/23	-	-	9/25	10/4	10/13	-2	-	-

1) 平年値：過去10カ年（H21～30）の平均値

2) 刈取作業の進捗・・・10%：始期、50%：盛期、90%：終期

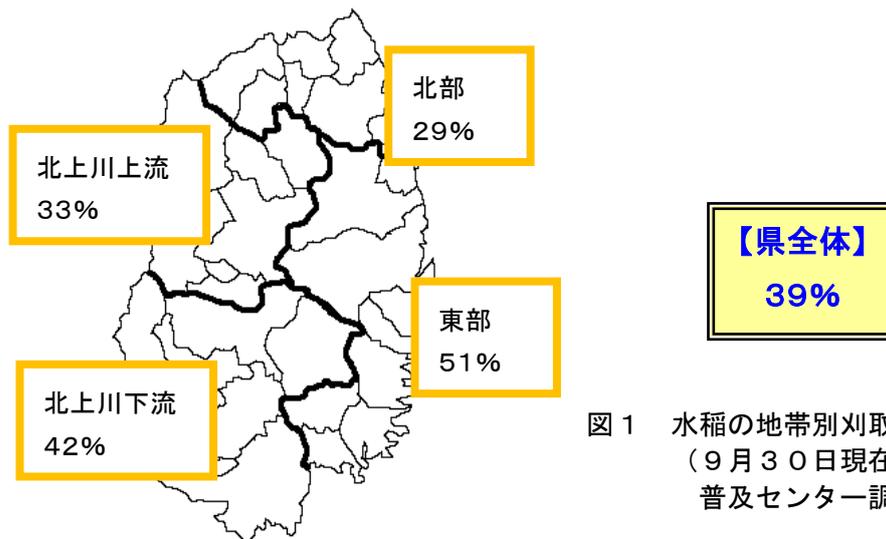


図1 水稻の地帯別刈取状況（9月30日現在 各農業改良普及センター調べ）

3 管理のポイント

- ・ 本年は登熟前半の高温の影響により、胴割粒・白未熟粒の発生が多いと予想される。県内の水稻は大半が成熟期に達しており、刈遅れは着色粒・胴割粒、白未熟粒の混入率が高まりやすくなるので、速やかに刈取りを行うこと。
- ・ 倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- ・ 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- ・ 籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- ・ 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。

※次回の報告は10月16日（水）の予定です。（10月15日現在の刈取状況）